

***** 1991年指定・登録文化財紹介 *****

1991年、指定・登録文化財が、中野区文化財保護条例第19条の規定により、中野区文化財保護審議会（会長三隅治雄）で検討し、教育委員会で、下記のように決定しました。

指定文化財

◎ 醤油屋のしいの木

所在地 江古田4-3-4

解説 樹高約15m、幹周399.5cm、樹齢6～700年の区内最大のスダジイで、江戸時代から御成街道（現新青梅街道）を利用する人々に親しまれてきたものです。

◎ 江古田の獅子舞

伝統保持者 江古田獅子舞保存会

解説 毎年10月第1日曜日に江古田氷川神社祭礼で舞われる獅子舞で、一人立ちの三匹の獅子の周りに四神を配置して巡行する点や、獅子頭の形状などに、数百年来の伝統をよく残しています。

また、新たに発見された山崎家文書の中にある由来書によれば、江古田の新田開発に深くかかわった形で伝承されたものと考えられ、歴史的な意味から言っても一層重要性の高いものと言えます。

◎ 堀江家伝来の朱印状（3通）

管理者 宝仙寺 中央2-33-5

解説 室町時代中野郷をはじめ、江戸時代中野村名主となった堀江家に代々伝えられてきた朱印状です。

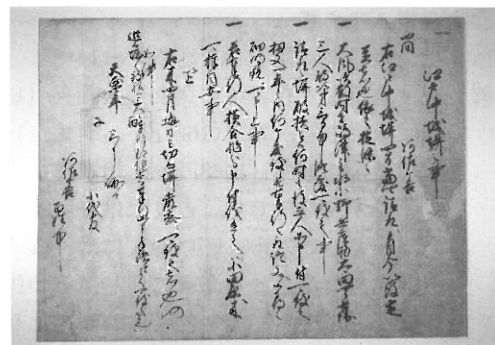
このうち2通は、天正4年(1576)と天正12年(1584)に小田原北条氏(氏政・氏直)から出された朱印状で、戦国時代末期の中野郷が堀江氏の支配下にあったことを示すと同時に、北条氏の支配のあり方を示す古文書として重要なものです。特に前者は地元に残る最古の古文書でもあります。残り1通は天正18年(1590)に豊臣秀吉が出したもので、秀吉支配下に入った中野郷の様子を知る貴重なものと言えます。



▲ 醤油屋のしいの木



▲ 江古田の獅子舞



▲ 堀江家伝来の朱印状

◎ 清谷寺の十三仏板碑

所在地 清谷寺 沼袋3-21-7

解説 応永6年(1399)の銘を持つ板碑で
高さ940mm、幅315mmを測ります。

大日如来を主尊にした十三仏供養の
ために造られたもので、全国の十三仏
板碑のうち年代が明確なものとしては
最古のグループに属しています。保存
状態もよく、種子の配置等様式的にも
板碑研究上、貴重な資料と言えます。

登録文化財

◎ 山荘の碑

所在地 蓮華寺 大和町4-37-15

解説 「山荘」とは山屋敷・切支丹屋敷と
も言われ、キリスト教徒を禁固した、
切支丹奉行井上筑前守政重の下屋敷の
ことを指します。この碑は、その沿革
を文化12年(1815)に記したものです。

江戸幕府のキリスト教政策を考える
上では重要な金石文と言えます。

◎ 井上円了の墓

所在地 日蓮宗蓮華寺 江古田1-6-4

解説 哲学堂創設者である井上円了の墓で
す。円了は哲学堂を建設し、迷信打破
や仏教の刷新運動を主導する等、社会
教育の発展に尽くしました。

また、妖怪学を創始したことでも知
られ、その後の民俗学や哲学に大きな
影響を与えました。

特に、その奇抜なデザインは、すで
に指定文化財となっている哲学堂とと
もに、円了の特異な思想と業績を知る
上で重要なものと言えます。

◎ 吉良家4代の墓

所在地 萬昌院功運寺 上高田4-14-1

解説 忠臣蔵で有名な吉良上野介義典(17
02没)の他、義定(1627没)、義彌(16
43没)、義冬(1668没)と絶家になる
まで4代の墓です。吉良家は今川家の
親族として栄え、江戸時代には、儀式
典礼をつかさどる高家に列し、その代
表格として、幕府と朝廷との間をとり
もつ役割りを担っていた名族です。

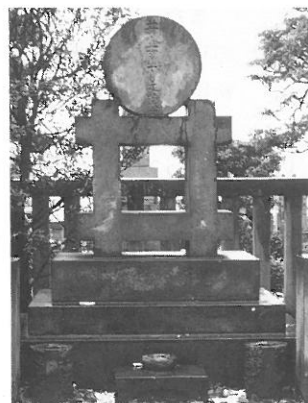
▶ 清谷寺の十三仏板碑



▶ 山荘の碑



▶ 井上円了の墓



吉良家4代の墓

